

令和8年度こうち留学フェア開催等委託業務に関する公募型プロポーザル審査結果について

1 審査について

参加申込書の提出があった2者について、資格要件を満たしていることを確認のうえ企画提案書の提出を求め、審査委員会を開催し、企画提案書の提出があった1者について、審査を実施した。

- (1) 日時：令和8年4月13日（月）午後1時30分から午後3時00分まで
- (2) 場所：高知県庁 西庁舎 地下会議室（高知県高知市丸ノ内1丁目7番52号）

2 審査項目及び方法

審査項目及び配点は以下のとおり

(1) イベント開催業務及び情報発信業務実績	100点	} 100点（審査委員一人あたり） ×審査委員5名＝合計500点
(2) 実施体制	40点	
(3) 柔軟性	50点	
(4) 「こうち留学フェア」の開催	100点	
(5) 「こうち留学」のブランディング	100点	
(6) デザイン性	25点	
(7) 県が実施する施策への取組	35点	
(8) 安価性	50点	

審査方法は、ヒアリング（プレゼンテーション及び質疑応答）により各審査委員が審査（採点）を行った後、審査委員全員の審査（採点）を集計し、令和8年度こうち留学フェア開催等委託業務プロポーザル審査要領に基づき、契約の相手方となる候補者を選定した。

3 審査結果

	参加者	総合得点
候補者	株式会社高知広告センター	376点

4 審査委員の主な意見

- ・これまでの豊富な経験からポイントを絞った提案となっており、事業のイメージが見通しやすい
- ・ターゲットを絞り込んだ広告配信の提案や目標達成に必要な配信量の論理的な説明がなされていた

- ・ 県内企業であることから、ステークホルダーとのコミュニケーションがとりやすい
- ・ ブランディングについては、他県も含めてしのぎを削っている状況も鑑み、「こうち留学」や「高知」の魅力をしっかり捉えて取り組んでもらうことが必要（他県との差別化や高知らしくインパクトのあるキャッチコピーの検討）
- ・ 広告で認知を広げたいうえで、事前予約や当日来場につなげる導線づくりをしっかりと設計することが必要
- ・ 会場の空間作りにおいて、来場者が気軽に相談しやすい空間を作るための工夫（休憩スペースの設置場所の検討、保護者の体験トークセッション、ブースパネルの工夫など）が必要
- ・ 訪問ブース数の向上に向けては、各学校をグルーピングし、来場者が比較しやすくするなど、レイアウトや案内の方法を工夫することも検討してもらいたい
- ・ 各学校のニーズや声をより拾えるように、学校との調整をしっかりと行うことが必要